

愛を語り合う水辺：
水質改善で魅力あふれる川辺に いまや台湾を代表する水の都



撮影：2017年3月（台湾高雄市中心街・愛河）

◆台湾の海の玄関口

台湾第二の都市・高雄市は世界第三のコンテナ港です。「海上都市」というコンセプトで、水辺を軸に発展している代表的な“水の都”です。今では観光客も多く訪れて川辺には人々の往来が絶えません。

◆恋人同士の散歩が似合う

かつては汚濁と悪臭により市民に避けられていましたが、1985年ごろから水質改善事業が開始され、2000年後半には50種以上の魚介類が確認されました。両岸に幅20mを超える遊歩道が1km近く続きます。

岡村幸二（JRRN会員）